

トラック summer ED

\*本編のその後、主人公が同居を許可した未来です。  
ヒロインも社会人になり、話し方も変わって落ち着いた様子です。

「おかえりなさい、

今日はいつもより早かったですね」

「あっ荷物は持ちますよ

仕事帰りなんですから家でぐらくつろいでくださいな」

「でもそうですね…

あと2時間は帰ってこないものと思っていたのでご飯の支度はまだ・・・」

「外食とかでもいいんですが、どうされます？

簡単なものでしたらご用意しますけど」

「はい、話…ですか？

いいですけど、ご飯はどうします？

そうですね、わかりました」

「では少しお待ちくださいね、まだ少しやることはありません  
大丈夫です、10分もあれば終わりますから」

「わっ(きゃっ)、どっどうしたんです!!

急に手なんて握って」

「わっわかりました、そんなにも大事な話なんですね！（赤面しながら）」

「わかりましたからそろそろ手を離してください、

その…家でもさすがに恥ずかしいです』

「それで、どうしたんです？

急に改まって

まさか転勤とかですか？」

「ああ、仕事関連じゃないんですね  
では一体どういった内容で」

「はい、それは紙？  
婚姻…届け？」

「兄さん！ついに結婚されるんですね！  
でも交際相手がいると知りませんでした」

「そこらへんの話を詳しくお聞きたいですね」

「兄さん？そんな顔されてどうしたんですか  
それに違うつてなにが・・・」

「それって、指輪…ですか？  
どうして今私にそれを？」

「あつ、それが彼女さんに渡すもので  
女性である私に意見を求めているんですね（焦りながら）」

「はっ、はい！  
えっ・・・う、うそ!? 本当に、私でよろしいんですか…?」

「夢じゃ、ないんですよね？  
でっでも、本当に私でっ（ここで主人公に抱きつかれる）」

「はいっ・・・はいっ！」

（号泣）

「すみません、あまりにも嬉しかったためお見苦しいところを…」

「はい、もちろん  
喜んでお受けいたします」

「ありがとう

大好きだよ、お兄ちゃん！」